



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



ご参加ありがとうございました

～令和5年度 2学期末PTA～



12月8日(金)のPTA授業参観と学級懇談には、たくさんご参加いただきありがとうございました。大きな行事があり、期間も長かった2学期も残りわずかとなりましたが、最後まで安全な生活を意識させて、冬休みを迎えさせたいと考えております。

家庭と学校が協力することが、子どもをよりよい方向に導いていくことにつながるものです。ご家庭で何か気になることがありましたら、学校にご連絡ください。

2～5年 通常の授業参観



【2年】生活科「ようこそ わくわく工作教室へ」生活科や図工の時間に作った「動くおもちゃ」をお家の人に教えました。いつも以上にはりきっていました。



【3年】国語「漢字の意味」
「人形にはなをつける」の「はな」の意味って？同じ音で意味の違う漢字について、問題を解いたり、同じ例を探したりしました。



【4年】算数「変わり方調べ」
段の数と周りの長さの関係について、表から式を求めました。考えを練り合いながら、全体でまとめていきました。



【5年】外国語「Unit7 Welcome to Japan.」
日本の遊びや年中行事について、クイズ作りをしました。ヒントも準備し、英語でクイズのやりとりをしました。

1年 「給食試食会」 & 「食育教室」



栄養教諭の佐藤紀美子先生をお招きして、食育教室を行いました。最初は、保護者の方々に1年生の給食の様子を見学していただいた後、給食の試食会を行いました。続いて、保護者向けの食育教室では、給食センターで調理する様子を写真で見ながら、食の安全や子どもたちの栄養に配慮した取組について理解を深めました。保護者参観の子ども向けの食育教室では、元気な体を作るため、どんな食べ物にどんな働きがあるのか、お話を聞きました。子どもたちは熱心に話に耳を傾け、元気に反応していました。

6年 「命の授業」



「助産師」とはどんな仕事なのか、教えていただきました。



命の成り立ちについて、動画を見て理解を図りました。



胎児人形に触れ、いのちの重みを感じ取りました。



身体の変化やこころについての話もしてくださいました。

三種町「助産院こころ」の小林かおり院長をお招きして、命の大切さについて授業をしていただきました。

赤ちゃんの人形を大事そうに抱っこする6年生の優しい表情が印象的でした。命が生まれることの奇跡を実感し、家族に感謝するとともに、自他人の命を大切にしてほしいと思います。



入賞者・表彰者の紹介

おめでとうございます

◇能代山本年刊詩集「たろっぺ」

【入選】

2年 石井 隼生さん
3年 工藤 修太さん
5年 船越 波玖さん
5年 大橋 唯知愛さん
5年 金田 紗幸さん
6年 小野 暁さん
6年 菊地 瑠空さん

【佳作】

1年 須藤 碧生さん
1年 熊谷 維千花さん
2年 秋田 谷瑛仁さん
2年 佐藤 奏介さん
2年 金田 陽音さん
3年 小林 心陽さん
3年 須藤 幸音さん

4年 神垣 千歳さん
4年 原田 苺衣さん
5年 日沼 友成さん
5年 門脇 陽菜さん
5年 佐藤 玲咲さん
5年 高橋 美緒さん
6年 加賀 谷紅亜さん

◇令和5年度秋田県小学生人権標語コンテスト

能代人権擁護委員協議会こどもの人権部会長賞 6年 成田 彩芽さん

作品「くらべちゃダメ みんなそれぞれ すてきな子」



「校長先生、跳び箱跳べるようになったので、見てくださいますよ。」
5校時途中、校長室に飛び込んできた一年生。体育館に行くと、少し緊張しながらも、気合よく満ちた顔が並んでいました。
成功しても失敗しても、最後まで笑顔。清々しいひとときを過ごしました。

今週の一枚



つぎ 二〇二三年 今年の漢字は...



日本漢字能力検定協会が全国から募集した『今年の漢字』に「税」が決まりました。みなさんはこの「税」から今年のどんな出来事をイメージするでしょうか。

歴代の『今年の漢字』は、イメージの広がりがありました。私は今年の『今年の漢字』からは、やはり「税金」しかイメージできません。二〇一四年にも「税」が選ばれています。その年は消費税率が5%から8%に引き上げられた年でした。やはり今年一年も、様々な税金にまつわる話題がとりざたされたことによるものなのではないでしょうか。

2位から10位の漢字は、順に、「暑」「戦」「虎」「勝」「球」「高」「変」「増」「楽」となっており、WBCやプロ野球など、盛り上がったスポーツを想起させる明るいものがある一方で、落ち着かない世相を反映したものも見られます。ちなみに、私にとっての「今年の漢字」は、多くの災害やテロ、戦争などが起きたということや、多様性を認め合う風潮の高まりなどから、「多」という漢字です。

いよいよ二〇二三年もあと少しで終わります。一年を振り返ると、ネガティブなことばかりピツクアップされがちですが、せめて気持ちだけは前向きでいたいものです。

来たるべき二〇二四年は、たくさん笑顔の花が咲く明るい一年であってほしいと願っています。

